

第5章 計画の目標

1 望ましい環境像

「古河市生活環境の保全及び創造に関する基本条例」の第3条「基本理念」に基づき、望ましい環境像を以下のように定めました。

人と自然が共生し、豊かな環境・歴史を未来につなぐまち古河

市民、事業者及び市が、環境課題の解決に向けて自ら積極的に行動し、古河の自然や都市、歴史などの魅力ある地域環境を誇りに思うことで、持続可能な社会を未来へ繋いでいくことを意味するものです。

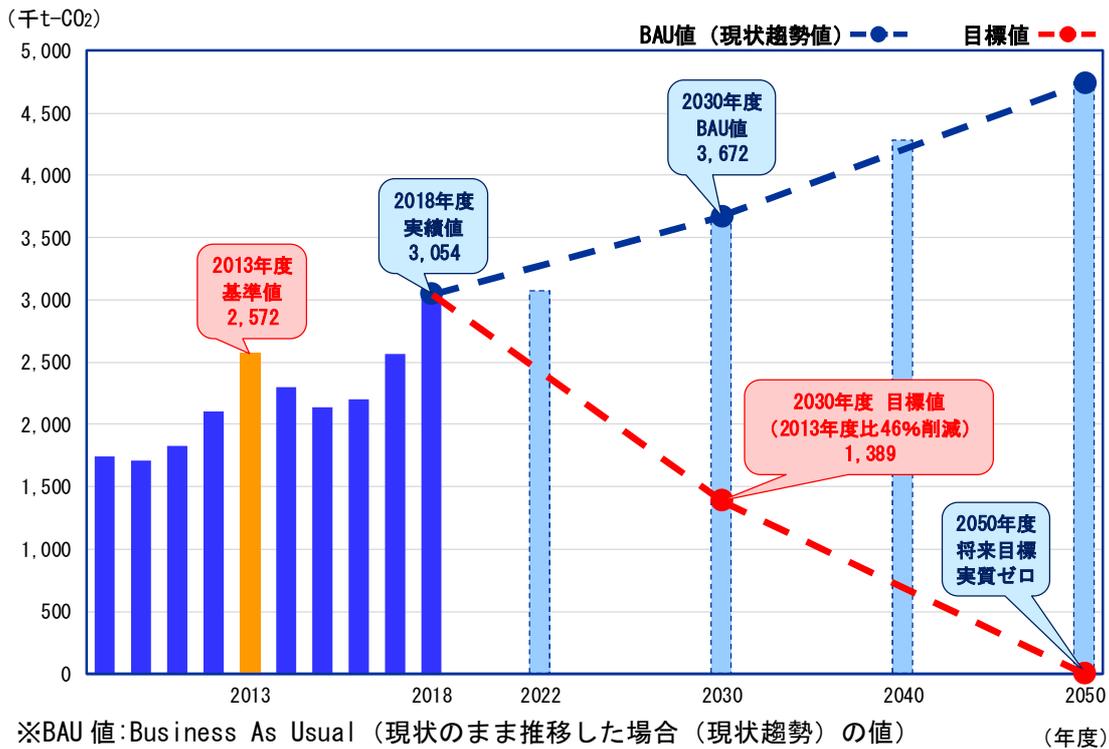


古河市の将来像図（イメージ図）

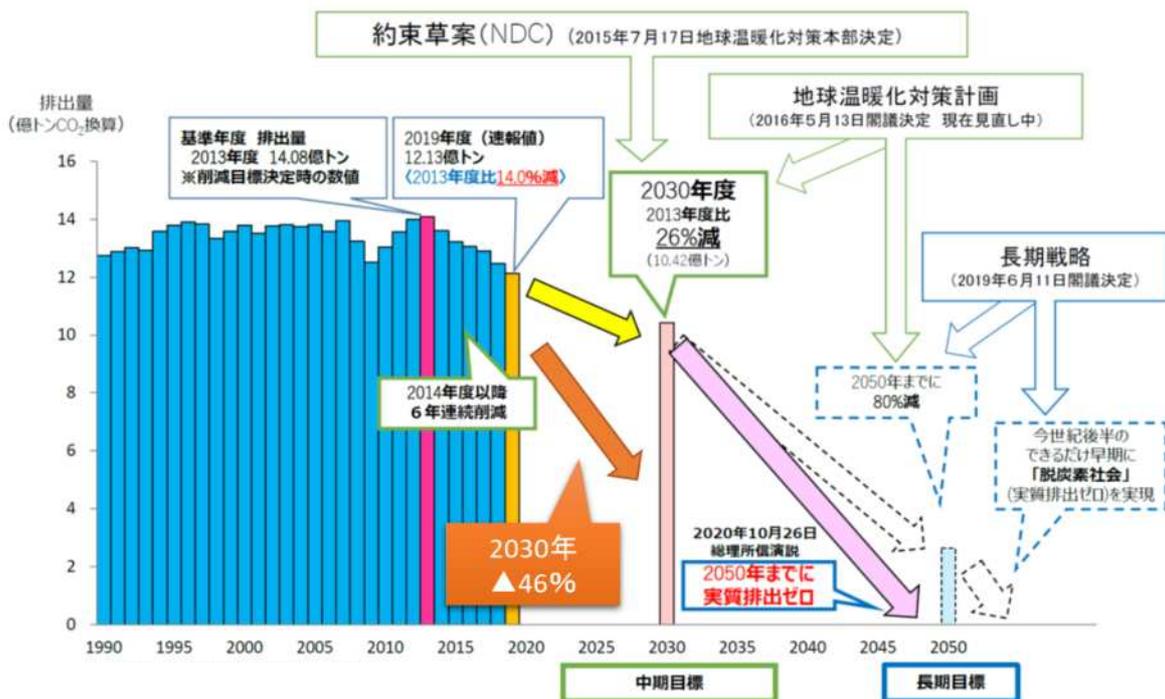
2 望ましい環境像実現のための基本方針と計画の視点

環境分野における取り組みでは、国の「第五次環境基本計画」及び「第6次エネルギー基本計画*」、並びに「第2次古河市総合計画」等の考え方を取り入れ、各分野における課題を総合的に解決することが求められます。

本市が目指す「望ましい環境像」の実現に向けても、SDGsを踏まえた様々な視点から環境施策を推進するとともに、経済と環境の好循環をつくり出すグリーン社会の実現を目指します。



古河市温室効果ガスの削減目標とBAU値



国の温室効果ガス削減目標

出典：国際環境経済研究所

基本方針

SDGsの理念に基づく
施策の推進

SDGsの理念に基づき、持続可能な社会を構築する基盤と捉え、地域の社会や経済の向上に繋がるものとして、分野横断的に取り組みます。

グリーン社会の実現

グリーン投資のさらなる普及を進めるとともに、環境関連分野のデジタル化により、効率的・効果的にグリーン化を進めていきます。また、グリーンインフラの構築を図っていきます。

多様な主体との連携による
施策の推進

市内における連携・協働の輪をさらに広げるとともに、国や県、他地域との連携を深め、環境保全の取組を広げていきます。

計画の視点

【地球環境】

- ◆地域から始める地球温暖化対策
(実行計画[区域施策編]含)
- ◆グリーン社会の実現
- ◆気候変動への適応策
- ◆グリーンインフラの構築

【自然環境】

- ◆生物多様性の保全
- ◆みどりの維持・保全
- ◆河川環境の維持・保全
- ◆自然の恵みにふれあう場・機会提供
- ◆動物福祉と環境

【環境保全に取り組むための
基盤づくり】

- ◆環境保全に対して自ら行動できる人材育成
- ◆各主体が自立・協働できる環境の醸成

人と自然が共生し、豊かな
環境・歴史を未来につなぐまち古河

【快適環境】

- ◆ゆとりがあり自然とふれあえる空間の確保
- ◆地域に根ざした風格あるまちづくり
- ◆自主的で誇りあるまち美化推進

【生活環境】

- ◆生活環境の保全
[大気質・水質・騒音・悪臭・地盤沈下・土壌汚染]
- ◆ごみの減量化・資源化の推進

3 第2次古河市環境基本計画 施策体系図

基本理念

人と自然とが共生できるような多様な自然環境を体系的に保全していく

環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら持続可能な循環型社会を構築していく

目指す環境像

人と自然が共生し、豊かな環境・歴史を未来につなぐまち古河

基本目標

総合的かつ横断的な視点による、包括的な取組目標

目標 1	地球環境	身近な地域から地球にやさしいまち
目標 2	自然環境	水やみどりと共生した自然豊かなまち
目標 3	生活環境	活力と元気があふれる健やかなまち
目標 4	快適環境	人と自然にやさしいうるおいのあるまち
目標 5	環境保全に取り組むための基盤づくり	みんなで考え自ら動くまち

重点施策

重点的に具体展開を図る主要な取組施策

施策 1	■ゼロカーボンシティ*宣言に基づく地域循環共生圏の構築
施策 2	■生き物を育むすみかづくり
施策 3	■ごみの3R* (Reduce・Reuse・Recycle) の推進
施策 4	■コンパクトシティ*の実現とDX*推進
施策 5	■民間ネットワークを活用した環境教育活動の推進